

中北.com

地域教育情報紙

中北教育事務所
地域教育支援スタッフ

no

6

チュウホク ドット コム

TEL 0551-23-3046

FAX 0551-23-3013

中北の地域社会 (COMmunity)の心の交流 (COMmunication)をめざします

平成24年度 第2回峡北地区 地域教育推進連絡協議会

平成25年2月19日(火)に、第2回峡北地区地域教育連絡協議会が、韮崎市の北巨摩合同庁舎で、協議会・研修会を開催いたしました。

研修会

「保・幼・小・中の滑らかな連携を求めて」

(福)子育て・発達の里 こころとそだちの相談室 『ぽーれ』

室長 中嶋 彩 氏

《 講演 の 内 容 》

今日は、「滑らかな連携」という題名で、実際に私が相談員(心理士)として、学校及び保育園のコンサルテーション等をやっておりますので、その中から得られたことなどをお話しさせていただきたいと思います。

やはり連携ということで一番必要として求められるのが、恐らくみなさん御想像の通り、発達障害の方です。勉強もできるし、見た目にはよくわからないのですが、少し違うという方です。その方をどのように支援していったら良いのかということです。

(中略)

支援者への信頼性を土台に、体験を通しての学習が必要です。本人には良く分らないけど、「上手くいったんだよね」という成功を実感すること。特に、趣味の世界を広げることというのは、それ自体に本人がやりたいという気持が伴っていませんから、まさに本人の良い所を発揮できる場として最適です。

このように、嫌いなことを苦手にさせないということ、成功体験ということが支援のキーワードになります。そして、ライフステージ毎に見通しをもって支援すること。小学校のときにすごく充実した連携。それは、横の連携です。

縦の連携も重要です。では、縦の連携をするにはどうしたら良いかということ、この子は、年齢毎に「どんなことが起きてくるのか」ということを

イメージしていかなければなりません。ですから、たとえば幼児期だと、やはり中心はどうしても家族がまず特性について理解することです。そして、お子さんについては、福祉サービスを利用していく方が、「就職など有利なのかな」との、将来について早くからイメージをすることです。



私も早期介入に関わりながら、反省しなければいけないのですが、アスペルガー(高機能自閉症)などと言われると、「将来が明るい」というような説明をよく受けます。そうしますと、親御さんがすごい勉強を頑張らせて、その結果子どもが勉強を嫌いになってしまう。さらに、テストの記入ミスをして不合格になってしまったりと。そんな不注意さもその子の特徴なのですが、それがす

ごく許せない。許せないから厳しくしてしまう。そして、子どものことが好きになれないというように形で、思春期に、お子さんと衝突してしまいます。

次に、学齢期は何をするかという、「学ぶ楽しさ」を先生から、大人から教わり、「楽しいな」という体験を沢山増やして欲しいのです。そして、「やればできる自分」を育てて貰うことにより、自閉症スペクトラム等のお子さんは、低学年よりも、年齢が上がる方が勉強をより理解するのです。

逆に、不注意さや多動性があるような子や、学習障害と言われるような子ども達というのは、後半の伸びが悪いのです。基礎学力が習得できないままですから、どんどん嫌になりますから、本当に嫌いになってしまいます。

このような小学生時代の子どもには、「何をしよてあげるといいのか」というと、実は家庭生活のスキルアップなのです。御飯の食べ方、掃除の仕方、この様なことなのです。

思春期になると、この苦手なことで人に言われるのがすごく嫌なのです。ですから、思春期になると外食できないなど、社会人としてやっていくのが難しくなります。

そして思春期は、「自分は、コミュニケーションが苦手なんだ」ということが大枠ながら理解するようになり、それについて話し合えるようになります。実際に、特性を本人に開示するのは小学校の高学年だと言われています。「みんな得意なこと、苦手なことがあるんだと。だから苦手なことがあるということは別に恥ずべきことではない」「むしろ苦手なことがあるのなら、それをどうやって考えるか」「どうしていけばいいかを考えていこう」ということが大事になるわけです。それと同時に考えていくわけですから、SOSを出す方法というのが求められていきます。

また、この時期はどうするかという、社会資源を知ること、職業生活スキルです。このころ

から、「なりたい職業は何か」というようなことから、やれる職業の選択というものが始まります。そうすると、社会との折り合いみたいなものを感じることができます。この時期に必要なスキルというのは、きちんとやったことを報告するとか、時間を守るとか、という当たり前のことです。困ったら誰かが助けてくれるから、困ったことをしっかりと伝えるということが大事になってきます。そして、「将来に向けて必要なことは何か」とか、とにかく成功体験を増やしていくことです。さらに、自分が苦手なことを理解しながら、「困った時には、回りにサポートして貰えばやれるんだ」と、困ったときには「頼ろう」という自信を育てていきます。大切なことは、支援を継続させることです。環境の変化に弱い子どもだからです。



熱心に聞き入る委員の方々

最後になりますが、「滑らかな連携」に向けてということで、話しましたが、「情報」についての話が少なかったと思います。「情報」が少なかったため、相談者が答えなかったことや、もっときちんと伝えられなかったなどがあるのです。これもアセスメントの一つなのです。この家庭は、どうしてこんなに情報が少ないのだろう。そして、実際に会ってみると「実は…」などとか。

また、たくさんの情報を欲しがり、多くあると、どこまで守秘義務が守られるのかなど、渡す方も不安になります。なので、まず、必要な情報、アセスメントの役立つ情報があればよいのです。割りと、保健師さんとか、地域の先生とかが沢山持っています。

そこで、今必要な情報は何なのか、それ以外の情報は捨てるという習慣が連携には不可欠です。そして、科学的な視点から情報を得るということです。そして、地域の支援について具体的に熟知しておくことです。分らなくなったら取り敢えずここに電話するというように「どこへ繋げていくか」といった情報を持っていることが必要です。身近な地域にいる方を、捉まえておくことが大事ではないかと思ひます。



会長あいつ・小川 龍馬 蕪崎市教育委員長

平成24年度 第33回 山梨県高等学校芸術文化祭 総合開会式

県高校文化連盟は、県教育委員会の共催のもと、平成24年11月7日(水)に、コラニー文化ホールにて、山梨県高等学校芸術文化祭の総合開会式を挙りました。

28の各文化部門は、県内の高校などを会場に、展示・交流会等を開催いたしました。

なお、本年度は、延べ約2万4千人の生徒が参加し、昨年度より盛会に開催することができたと、実行委員会担当者のお話でした。



各文化部門代表の整列

☆ 日本の伝統芸能 『能楽』 ☆

ことぶき勸学院 甲府・中巨摩・北巨摩 三学園 合同講座



佐久間先生に「面」をつけて貰う勸学院生

平成24年11月13日(火)に、八田ふれあい情報館において、ことぶき勸学院中北地区の3学園は、「能楽」の合同講座を開催しました。

勸学院の2年生115名は、講師の佐久間二郎(観世流・能楽師)・鳥山直也(観世流・小鼓方)の両先生により、「能」の歴史や作法・楽しみ方の指導を受けていました。

また、直接「能面」をつけての実技や小鼓を打つことなどを行い、大変感激した様子でした。

中学校武道・ダンスの必修化にともなう柔道の公開授業

＝ 北杜市立甲陵中学校 ＝

北杜市立甲陵中学校は、平成24年12月10日(月)に、保健体育の授業として、「柔道」を公開しました。

このことは、学習指導要領が改訂され「武道等」の領域が必修化により、県教育委員会の「武道等指導推進事業」の一環とし、行われたものです。

甲陵中学校の2年生は、慣れないことで、戸惑うところもありましたが、全員が真剣に取り組んでいました。



開催

第2回北部地区特別支援連絡協議会

1月29日(火)に、わかば支援学校において、「第2回北部地区特別支援連絡協議会」を開催しました。

この会は、甲府市を除く、中北地区の特別支援教育・地域療育関係者30名が、「地域内のネットワーク形成・研修・情報提供・相談支援システム構築」を目的に、協議を行うものです。多くの参加者のもと、活発な意見交換が行われました。



市町教育委員会の関係者

第2回青少年社会環境健全化推進キャンペーン

1月31日(木)に、「青少年が心身ともに健やかに成長できる社会を作り上げていくためには、地域社会全体で青少年の健全育成に取り組んでいく」との趣旨のもと、やまなし青少年社会環境健全化推進協議会と県青少年総合対策本部は、甲府市南部・中央市西部に啓発活動(店舗事業主に啓発ステッカー、リーフレットの配布)を関係者21名で行いました。

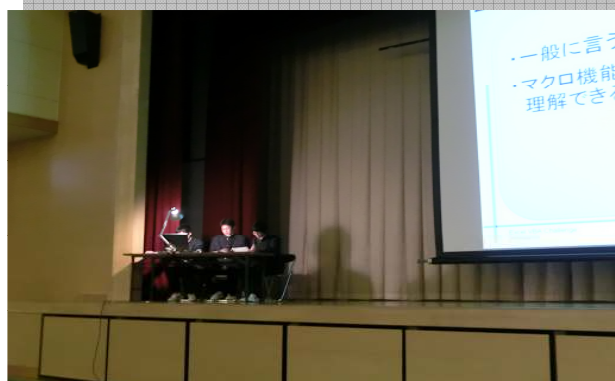


韮崎工高・生徒研究発表会

◆インターンシップ実践発表◆

韮崎工業高校は、2月9日(土)に自校体育館において、地域中学生・保護者の参加のもと、インターンシップ(就業体験)、地域連携ものづくり人材育成事業・課題研究の発表会を開催しました。

インターンシップ実践発表では、2年生を対象に年3回のジュニア・インターンシップを行い、43の事業所に参加し、「学んだこと」「考えたこと」についての成果を発表しました。



平成24年度 文部科学大臣表彰受賞

◆優良PTA表彰

- 北杜市立甲陵高等学校PTA
- 北杜市立長坂小学校PTA

◆優れた「地域による学校支援」推進

- みんなで汗をかく地域八田(学校応援団)
- 北杜市放課後子ども教室
- 甲斐市立双葉西小学校支援地域会議

◆優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進

- 南アルプス市立八田小学校

◆子どもの読書活動優秀実践図書館

- [団体] 昭和町立図書館
- [個人] 齊藤順子氏

平成24年度『中北.com』No.6

編集・発行
中北教育事務所 地域教育推進担当

〒407-0024 韮崎市本町4-2-4
電話 0551-23-3046
ファックス 0551-23-3013

『中北.com』は中北教育事務所のホームページでもご覧になれます。
アドレスは次のとおりです。 <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ch/index.html>